

学位被授与者氏名	林 苳 卉 (りん じーほえ)
論文題目	陶淵明『帰去来兮辞』における「帰去来」の考察について
論文審査結果の要旨	<p>六朝、唐、宋（北宋）の社会風潮、官僚制度などを視野に入れて、作品や各詩人、文人の行動や考え方を考察した点、宋・蘇軾が「帰去来の辞」について三つ作品を残しているが、それらを比較考察した点が評価できる。また分析、考察が丁寧で論理的に叙述されていて説得力があることも評価できる。</p> <p>しかしながら、以下の点が注意点としてあげられる。(1)先に先行研究から「帰去来の思想」を導き出して論を開始しているが、はじめに「帰去来の辞」を分析してから「帰去来の思想」を導き出すほうがより説得力があったと思われる。(2)陶淵明の思想全体をまとめた上で「帰去来の思想」に言及したほうが説得力が増したと思われる。(3)陶淵明の作品がほぼ「帰去来の辞」に限られ、「帰去来の思想」が陶淵明の他の作品にどのように現れているかについて言及があるとより深い考察ができたと思われる。このことに関連して、第五章で取り上げる蘇軾は陶淵明のすべての詩に唱和しているので、蘇軾の陶淵明理解を述べる際に陶淵明の原詩と蘇軾の唱和詩との比較検討ができ、やはりより深く考察できたと思われる。(4)原文を引用する際に、正字（繁体字）、簡体字、日本の常用漢字体が入り交じっているが、統一できていれば良かった。</p> <p>2023年2月13日に、北九州市立大学北方キャンパス3号館3-326教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>